

区ビジョン基本方針 東区

◆ 区の将来像

暮らしと産業の調和を活かした、世界と共生するまち

◆ 区の担う役割

- 都心に近接する地理的条件を活かした快適な居住地としての役割を担います。
- 空港と港湾を有する区として、国内各地や海外とのネットワークの拠点となる機能を担います。
- 大規模な重工業から軽工業まで大小ある工場により、市内製造業の拠点としての機能を担います。

◆ 目指す区のすがた

《安心・快適で利便性の高いまち》

- 地域のマンパワーや人的ネットワークを充実させ、福祉、防犯・防災、環境保全など地域が抱える課題に取り組むことにより、人にやさしく、安心・安全に暮らすことができるまちを目指します。
- 交通機能のさらなる向上と生活関連環境・施設の充実により、職住近接で利便性の高いまちを目指します。

《産業が振興するまち》

- 工場や卸売業と多様な機能・規模の小売店舗がバランスよく配置されるとともに、地産地消の都市近郊型農業も展開される、活気ある産業のまちを目指します。

《水と親しみ豊かな自然に囲まれるまち》

- 通船川、栗ノ木川、阿賀野川、信濃川、そして日本海など、豊かな水辺と人々が親しみ、地域の自然環境を大切にすやすらぎと憩いのあるまちを目指します。

《空と海の玄関口のまち》

- 国際航空路線の開設・拡充や空港アクセスの強化とともに、国内外の海上輸送ネットワークを充実することにより、世界への玄関口にふさわしい、人が集まる魅力を備えた拠点性の高いまちを目指します。

◆ まちづくりに向けた施策の方向

(1) 安心していきいき暮らす環境の整備

① 安心とやさしさの環づくり

区民が行政と共に考え、行動することにより、積極的に地域の環境づくりや防犯・防災に努めていきます。

子育て支援や高齢者の生きがいづくりなどを進め、助け合い支え合う地域づくりを推進します。

② 個性ある地域文化づくり

地域に伝わる歴史・文化を認識し、継承していくとともに、心の豊かさをはぐくみ、地域の活力につながる文化活動を振興していきます。

③ 体育施設の整備

体育施設の整備や学校などの活用により、市民がスポーツをする機会を増やし、心身の健康と生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。

(2) 交通網の整備

① 幹線道路などの整備

幹線道路の整備や、区役所などの公共施設を利用しやすい公共交通網を整備することで、住民の交通利便性を高めるとともに、ヒト・モノの交流の拡大を図ります。

(3) 遊休地の有効利用

① 遊休地の整備と有効活用

大規模な工場跡地などの遊休地を、民間の力を活用しながら有効利用することにより、地域の活性化を図ります。

(4) 親しめる水辺などの整備と活用

① 自然を活かした緑地、公園の整備

通船川の親水護岸整備や栗ノ木川も含めた河川緑地の環境整備など、自然環境を活かした憩いの空間を形成します。

② 港を活かしたまちづくり

港と緑地を活用することにより、港の風を感じながら余暇を楽しむ、潤いと賑わいの空間を形成します。

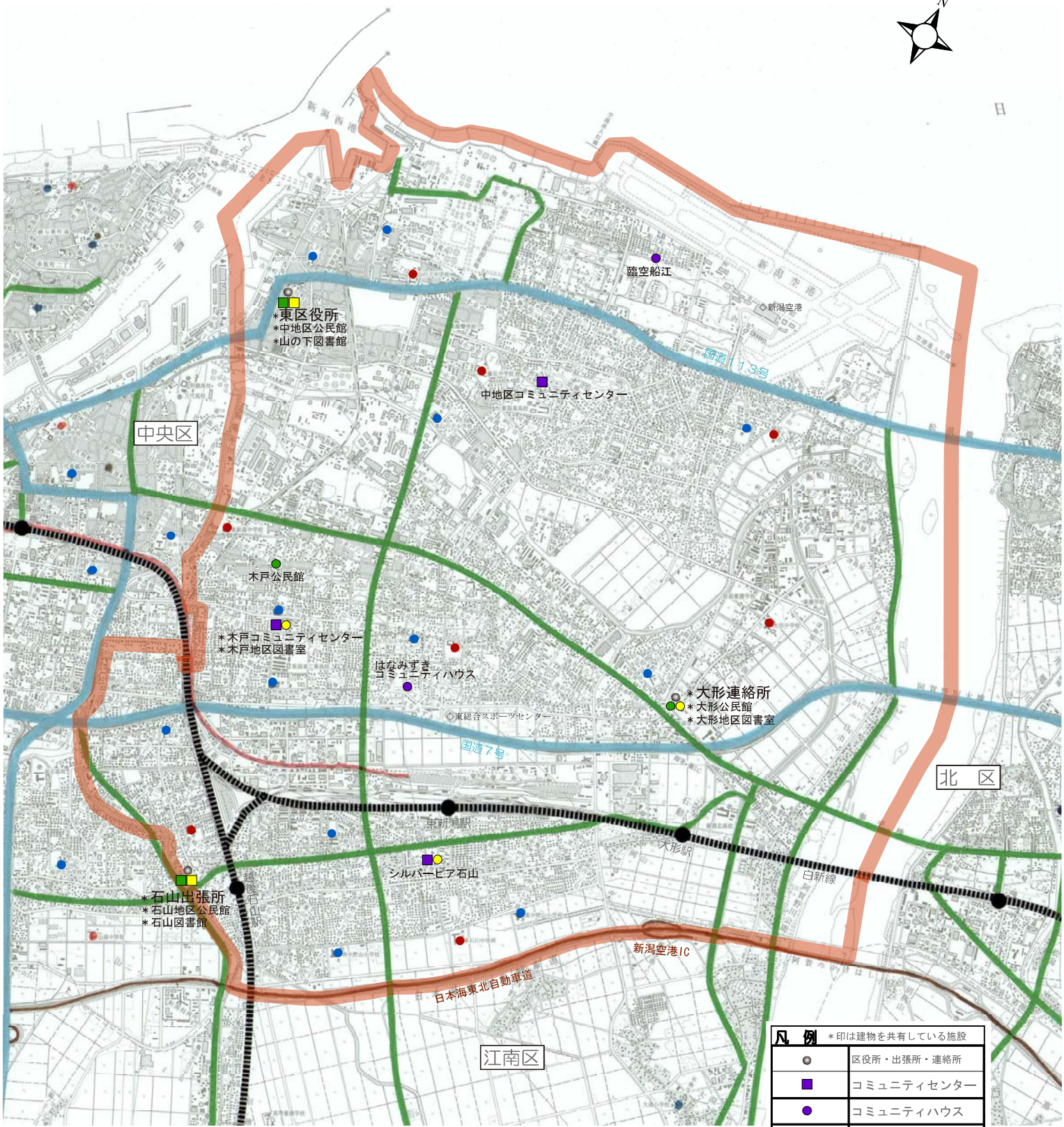
(5) 国内外に向けた交通基盤の整備

① 空港機能の強化, 利用活性化

関連機関などと連携を取りながら、空港周辺の環境整備や国内外路線の開設・拡充、取扱貨物量の増加を図るとともに、利便性を高めるため空港アクセスの強化を図ります。

② 港湾施設の整備と利用活性化

市の中心部に位置する新潟西港の施設整備や機能強化を進め、恵まれた地理的優位性や高速交通体系を活かした国内外の海上輸送ネットワークの拡大を図ります。



凡例 *印は建物を共有している施設	
●	区役所・出張所・連絡所
■	コミュニティセンター
●	コミュニティハウス
■	地区公民館
●	地区公民館(分館)
■	図書館
●	地区図書室
▲	市民会館・コミュニティ施設等
●	中学校
●	小学校